

# 事務事業評価シート（1/2）

1頁  
平成30年 8月17日  
14時14分25秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001281010 環境都市推進課環境政策係  
事務事業 02733 環境基本計画推進事業

所属長名 神谷 孝  
担当者 大見 麻綾  
電話番号 0566-71-2206

## 【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002 環境			
項目（施策）	001 3環境			
施策の方針	002 低炭素社会の実現			
事務事業	001 環境基本計画推進事業			
事業期間	平成12年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・環境マネジメントシステム維持管理事務 ・環境基本計画推進事業 平成29年度末に、環境マネジメントシステム維持管理事務は終了しました。			

## 【事業分析】

対象	環境の保全及び創造に関する施策が、
目的	総合的かつ計画的に推進されます。
手段	市が単独で実施する事業のほか、市民や市民団体などと市が協働して実施した施策の結果について、環境審議会 で報告及び意見聴取します。
事務内容	計画の進捗管理、環境審議会の開催、環境報告書の作成。

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	7,625	8,127
事業費	0	65	567
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	65	567
人件費計	0	7,560	7,560
正規（人）	0.00	1.20	1.20
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		市が単独で実施する事業のほか、市民や市民団体などと市が協働して実施した施策の結果について、環境審議会 で報告及び意見聴取を しました。	市が単独で実施する事業のほか、市民や市民団体などと市が協働して実施した施策の結果について、環境審議会 で報告及び意見聴取 します。

# 事務事業評価シート (2/2)

2頁  
平成30年 8月17日  
14時14分25秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001281010 環境都市推進課環境政策係  
事務事業 02733 環境基本計画推進事業

上段：目標値 下段：実績値

## 【定量評価】

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
環境報告書の作成	一式	0.00	1.00	1.00
		0.00	1.00	0.00
環境審議会の開催	回	0.00	1.00	1.00
		0.00	1.00	0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	環境基本計画の進捗管理を環境審議会で報告する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	環境基本計画の進捗管理は、市民ニーズは充分にあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標どおりに進捗しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	報告書の内容など検討し、事務改善に取り組んでいます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の自治体でも同種の例があり、適正であると考えます。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	環境基本計画推進事業は、毎年度環境審議会において進捗管理の報告を行い、目標値達成に向けて維持・継続する必要があります。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001281010 環境都市推進課環境政策係  
事務事業 02734 環境学習・意識啓発推進事業

所属長名 神谷 孝  
担当者 天野 涼太郎  
電話番号 0566-71-2206

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画				
5Kの分類	002 環境				
項目（施策）	001 3環境				
施策の方針	005 環境学習及び環境配慮行動の促進と支援				
事務事業	001 環境学習・意識啓発推進事業				
事業期間	平成7年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的／政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	地球温暖化対策推進法				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・環境アドバイザー等支援事業 ・環境意識啓発事業 ・地球温暖化対策地域協議会事業 ・環境学習推進事業 ・環境教育事業 平成29年度末に、環境アドバイザー等支援事業は終了しました。				

【事業分析】

対象	市民が、
目的	環境への興味・関心を高め、環境行動を率先して行うようになります。
手段	様々な主体（行政・市民・市民団体・事業者）による環境学習・意識啓発を推進します。
事務内容	わくわくネイチャースクール、木づかいイベント、市民団体との環境協働事業等の実施。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	17,335	14,756
事業費	0	9,775	7,196
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	287	320
一般財源	0	9,488	6,876
人件費計	0	7,560	7,560
正規（人）	0.00	1.20	1.20
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		様々な主体（行政・市民・市民団体・事業者）による環境学習・意識啓発の推進を行いました。	様々な主体（行政・市民・市民団体・事業者）による環境学習・意識啓発の推進を行います。

# 事務事業評価シート（2/2）

4頁  
平成30年 8月17日  
14時14分25秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001281010 環境都市推進課環境政策係  
事務事業 02734 環境学習・意識啓発推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
木づかいイベントの実施回数	回	0.00	4.00	3.00
		0.00	4.00	0.00
わくわくネイチャースクールの実施回数	回	0.00	2.00	2.00
		0.00	2.00	0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	環境学習・意識啓発推進は、市で補完する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	応募が多く抽選になるなど、市民ニーズは充分にあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標を満たしており、順調に進捗しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	効率的・効果的な事業手法を検討しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の自治体においても、同種の事例もあり適正あると考えます。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	環境学習・意識啓発推進事業は、様々な主体（行政・市民・市民団体・事業者）年代による環境学習・意識啓発の推進を図るため、維持・継続した事業が必要となります。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

5頁  
平成30年 8月17日  
14時14分25秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001281010 環境都市推進課環境政策係  
事務事業 02735 地球温暖化対策事業

所属長名 神谷 孝  
担当者 中石 七瀬  
電話番号 0566-71-2206

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	001	3環境		
施策の方針	002	低炭素社会の実現		
事務事業	002	地球温暖化対策事業		
事業期間	平成21年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生 健幸
根拠法令等				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・新エネルギー導入事業 ・次世代自動車普及促進事業			

## 【事業分析】

対象	市民に対して、
目的	再エネ・省エネ機器、次世代自動車の導入促進を図ります。
手段	再エネ・省エネ機器、次世代自動車（PHV、EV、FCV、超小型電気自動車）の補助金を交付します。
事務内容	太陽光発電、太陽熱高度利用システム、太陽熱温水器、燃料電池、蓄電池、HEMS、次世代自動車（PHV、EV、FCV、超小型電気自動車）の購入者に対して補助金を交付します。

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	48,667	42,449
事業費	0	39,217	33,629
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	5,609	2,670
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	33,608	30,959
人件費計	0	9,450	8,820
正規（人）	0.00	1.50	1.40
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		再エネ・省エネ機器、次世代自動車（PHV、EV、FCV、超小型電気自動車）の補助金を交付しました。	再エネ・省エネ機器、次世代自動車（PHV、EV、FCV、超小型電気自動車）の補助金を交付します。

# 事務事業評価シート（2/2）

6 頁  
平成30年 8月17日  
14時14分25秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001281010 環境都市推進課環境政策係  
事務事業 02735 地球温暖化対策事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
スマートハウス普及促進補助金の件数	件	0.00	300.00	300.00
		0.00	448.00	0.00
次世代自動車購入費補助金の台数	台	0.00	95.00	95.00
		0.00	110.00	0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	県の間接補助のため、市で補完する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市民ニーズは充分にあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標どおりに進捗しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	より効果の高い補助内容など検討しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の自治体においても、同種の支援をしています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	地球温暖化対策事業として、スマートハウス（住宅用太陽光発電施設、家庭用エネルギーシステム（HEMS）、家庭用燃料電池システム、定置用リチウムイオン蓄電システム、電気自動車等充電設備）、次世代自動車（PHV、EV、FCV、超小型電気自動車）を普及促進するための補助金を交付するなど、維持・継続するための支援が必要です。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

7頁  
平成30年 8月17日  
14時14分25秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001281010 環境都市推進課環境政策係  
事務事業 02736 秋葉いこいの広場施設管理運営事業

所属長名 神谷 孝  
担当者 中石 七瀬  
電話番号 0566-71-2206

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	001	3環境		
施策の方針	005	環境学習及び環境配慮行動の促進と支援		
事務事業	002	秋葉いこいの広場施設管理運営事業		
事業期間	平成21年度～			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	秋葉いこいの広場の設置及び管理に関する条例			
備考	平成30年度末に、秋葉いこいの広場環境学習センター施設を廃止。 平成31年度より、柿田公園管理事務所へ環境学習事業を移転。			

## 【事業分析】

対象	施設の利用者である市民が、
目的	環境学習や環境活動への興味・関心を高めるとともに、施設利用を通じ、健康増進と余暇活動の推進を図ります。
手段	指定管理者が環境学習センターで講座・展示・イベントなどの環境学習事業を実施するほか、会議室や多目的室、テニスコートの貸出しを行っています。
事務内容	指定管理者制度による施設の維持管理及び関係する事務。

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	31,895	37,989
事業費	0	24,965	30,429
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	24,965	30,429
人件費計	0	6,930	7,560
正規（人）	0.00	1.10	1.20
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		指定管理者が講座・展示・イベント実施により環境学習を実施しており、月に一度の定例会で市と指定管理者との情報共有を図りました。	指定管理者が講座・展示・イベント実施により環境学習を実施しており、月に一度の定例会で市と指定管理者との情報共有を図ります。（平成31年度指定管理者更新）

# 事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001281010 環境都市推進課環境政策係  
事務事業 02736 秋葉いこいの広場施設管理運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
環境学習センター来館者数（貸部屋・テニスコート利用者を除く）	人	0.00 0.00	10,000.00 12,709.00	10,000.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	他の施設が機能を代替すると考えます。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	2
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	一定の需要は認められます。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標を満たしており、順調に進捗しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	指定管理者へ効率的・効果的な運営の指導をします。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	2
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	施設管理は代替施設があり、環境学習事業は移転する。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	休止・廃止・終了
1次コメント (400文字)	環境学習センター内で実施する環境学習事業やテニスコートの利用が図られている一方で、他の公共施設と機能が重複する会議室等の貸し部屋については利用者が減少傾向にありました。これに加えて、施設の老朽化が課題となっていたことから、テニスコートを除く環境学習センターの廃止と同施設内で実施している環境学習事業の機能移転について、平成29年度の公開行政レビューに諮ったうえで、議会の承認をいただきました。今後、環境学習センターは平成30年度末をもって閉館としますが、環境学習事業は平成31年度から柿田公園内にある施設で取組を継続していきます。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。



# 事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係  
事務事業 02737 合併浄化槽普及事業

所属長名 神谷 孝  
担当者 亀島 章広  
電話番号 0566-71-2206

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）		
施策の方針	003	良好な水環境の実現		
事務事業	044	合併浄化槽普及事業		
事業期間	平成1年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市生活排水処理基本計画、安城市污水適正処理構想			
備考				

【事業分析】

対象	市民が
目的	良好な生活環境で過ごせるまちを目指して、河川等の水質改善を図っていきます。
手段	公共下水道認可区域（当該年度に認可が見込まれる区域を含む。）及び農業集落排水処理区域以外の地域で合併処理浄化槽（窒素除去型及び窒素燐除去型）を設置する者に対し、補助金を交付します。
事務内容	補助金交付申請を受け付け、審査のうえ浄化槽の人槽に応じて補助金を交付します。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	38,780	31,150
事業費	0	35,000	28,000
国庫支出金	0	11,351	8,000
県支出金	0	6,621	5,000
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	17,028	15,000
人件費計	0	3,780	3,150
正規（人）	0.00	0.60	0.50
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		補助基数 実績130基	補助基数 計画145基

# 事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係  
事務事業 02737 合併浄化槽普及事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
合併処理浄化槽設置基数	基	0.00 0.00	145.00 130.00	145.00 0.00

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	補助金の支払い事務のため、民間活用は馴染まないと考えます。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	2
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	新規設置浄化槽のうち、約半数がこの補助金を受けています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	予算の上限に達した場合は、申請受付を停止する場合があります。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促していきます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	国の交付基準額や他市との比較においても、適正と思われます。		

【1次評価結果】	
事業の方向性	縮小・統合
1次コメント (400文字)	河川等の水質に大きな影響を与える家庭の生活排水は合併処理浄化槽を利用することで改善できます。まだ単独処理浄化槽を使用している世帯も多いため、今後は単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を進めていきます。

【2次評価結果】	
事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係  
事務事業 02739 水質汚濁防止事業

所属長名 神谷 孝  
担当者 亀島 章広  
電話番号 0566-71-2206

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	001	3環境		
施策の方針	003	自然と共生する良好な生活環境の確保		
事務事業	002	水質汚濁防止事業		
事業期間	平成1年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	水質汚濁防止法、県民の生活環境の保全に関する条例			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・水質汚濁防止事業 ・環境対策広域事業 ・生活排水対策実践事業 ・油ヶ淵水質浄化事業			

## 【事業分析】

対象	市民が
目的	身近な生活環境である水辺の環境を知ったり、浄化活動に携わることで河川環境に関心を持ち、安城の自然を守るように行動することができます。
手段	市内主要12河川の水質調査を年5回、水質細密及び底質調査を年1回行い、河川の水質状況を分析します。 油ヶ淵の水質浄化を図るため、「油ヶ淵浄化デー」等の実践・啓発活動を行います。
事務内容	河川水質調査事務、油ヶ淵浄化デー事務を行います。

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	12,330	12,246
事業費	0	3,510	4,686
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	3,510	4,686
人件費計	0	8,820	7,560
正規（人）	0.00	1.40	1.20
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		河川等水質調査 5回 油ヶ淵浄化デー 7/23	河川等水質調査 油ヶ淵浄化デー

# 事務事業評価シート（2/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係  
事務事業 02739 水質汚濁防止事業

上段：目標値 下段：実績値

## 【定量評価】

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
環境基準達成率	%	0.00 0.00	90.00 95.00	90.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市内主要河川と油ヶ淵の水質は安城市が調査しています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	きれいな河川が望まれています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	改善傾向ですが、油ヶ淵の水質は基準に達していません。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	啓発用品選定について効率化を図っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	今後も愛知県・油ヶ淵周辺市と共同として取り組んでいきます。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	河川等の水質環境について、国・県との広域的な事業との連携を取って進めていきます。また、市民には普段の生活の中でできる工夫や、日ごろの配慮による水質改善のPRを行っていきます。 市内主要河川については環境基準を達成していますが、基準値に達していない油ヶ淵の水質改善については今後も粘り強く取り組んでいきます。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係  
事務事業 02740 公害防止事業

所属長名 神谷 孝  
担当者 奥村 昌太  
電話番号 0566-71-2206

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	001	3環境		
施策の方針	003	自然と共生する良好な生活環境の確保		
事務事業	003	公害防止事業		
事業期間	平成1年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	騒音規制法、振動規制法、土壌汚染対策法、悪臭防止法、大気汚染防止法			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・大気汚染防止事業 ・騒音・振動防止事業 ・土壌汚染防止事業 ・悪臭防止事業 ・有害化学物質測定事業 ・地盤沈下防止事業			

【事業分析】

対象	市民が
目的	公害の無い快適な環境で暮らすことができます。
手段	大気汚染物質や道路騒音などの将来的に継続する公害要素を定期的に調査し、野焼きなどの一過性の問題については、その都度指導を行い快適な生活環境の実現を目指します。
事務内容	大気汚染物質、騒音、振動、悪臭、地下水位の調査。市民から寄せられる苦情に対して原因を調査し、改善指導を行います。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	12,160	11,594
事業費	0	3,340	4,034
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	3,340	4,034
人件費計	0	8,820	7,560
正規（人）	0.00	1.40	1.20
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		自動車騒音調査 1回 Nox・SO2等測定 年間 臭気測定 3カ所	自動車騒音調査 Nox・SO2等測定 臭気測定

# 事務事業評価シート（2/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係  
事務事業 02740 公害防止事業

上段：目標値 下段：実績値

## 【定量評価】

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
環境基準達成率	%	0.00 0.00	97.00 100.00	97.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	国・県との役割分担に基づいて実施します。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	快適な生活環境が望まれています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	今後とも公害防止に努めます。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	役目を終えた環境調査は終了します。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	今後とも公害防止に努めます。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	縮小・統合
1次コメント (400文字)	公害問題全盛期以降、法規制の厳格化及び企業等の環境意識向上により一定の基準に達した項目については、段階的に縮小・合理化していきます。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

7頁  
平成30年 8月17日  
14時14分34秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係  
事務事業 02741 さわやかマナー推進事業

所属長名 神谷 孝  
担当者 亀島 章広  
電話番号 0566-71-2206

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	001	3環境		
施策の方針	003	自然と共生する良好な生活環境の確保		
事務事業	004	さわやかマナー推進事業		
事業期間	平成27年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市さわやかマナーまちづくり条例			
備考				

## 【事業分析】

対象	市民と共に
目的	市が目指す「良好な環境が持続的に発展するまち」を実現するため、快適で安全な生活環境を形成することを目的とした条例を制定しました。目的実現のため、啓発活動やキャンペーン等を実施します。
手段	さわやかマナーまちづくり条例（平成27年4月1日施行）の推進に伴い、活動団体への支援、啓発物品の購入、巡回用消耗品の提供を行います。
事務内容	啓発用品を配布する啓発活動や主要駅でのキャンペーンを行います。活動団体を募集し、啓発用品の貸与などの支援を行います。

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	4,142	4,670
事業費	0	1,622	2,150
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	1,622	2,150
人件費計	0	2,520	2,520
正規（人）	0.00	0.40	0.40
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		JR安城駅/アソール 2回 登録活動団体 36団体	啓発活動 2回 活動団体 40団体

# 事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係  
事務事業 02741 さわやかマナー推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動団体登録数	団体	0.00	40.00	40.00
		0.00	36.00	0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	さわやかマナーまちづくり条例に基づいて実施しています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	快適で安全な生活環境が望まれています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	今後も募集のPRを続けていきます。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	啓発キャンペーンや配布物品の効率的な運用を行います。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	比較対象が少ないですが、適正と判断しています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	主要3駅での路上喫煙禁止区域指定を実施し、啓発活動を行っていますか、まだ市民に十分に浸透しているとはいえないため、さわやかマナー条例の周知を図っていきます。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。



# 事務事業評価シート（1/2）

9頁  
平成30年 8月17日  
14時14分34秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係  
事務事業 02742 狂犬病予防対策事業

所属長名 神谷 孝  
担当者 鈴木 正洋  
電話番号 0566-71-2206

## 【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画				
5Kの分類	002 環境				
項目（施策）	003 5生活安全				
施策の方針	001 5生活安全その他				
事務事業	002 狂犬病予防対策事業				
事業期間	平成12年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	狂犬病予防法				
備考					

## 【事業分析】

対象	犬の所有者に
目的	狂犬病予防のため、飼い犬の登録と予防注射を実施してもらいます。
手段	犬の登録や異動に関する申請の受付を行っています。狂犬病予防注射については多くの市民に実施してもらうよう、15日間にわたり公民館等の市内35施設での集合注射を実施しました。
事務内容	登録鑑札及び注射済票の交付、各種交付手数料の収納、集合注射等の事務を行います。

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	7,220	9,717
事業費	0	4,070	4,677
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	4,070	4,677
一般財源	0	0	0
人件費計	0	3,150	5,040
正規（人）	0.00	0.50	0.80
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		15日間 35会場	15日間 35会場

# 事務事業評価シート（2/2）

10 頁  
平成30年 8月17日  
14時14分34秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係  
事務事業 02742 狂犬病予防対策事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
狂犬病予防注射実施率	%	0.00 0.00	91.80 89.03	91.80 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	狂犬病予防法に基づいて実施しています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	狂犬病の予防に必要です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	接種率は上昇しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事務の効率化を図っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	各種手数料は全国一律で決まっています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	国内で狂犬病の発生はありませんが、狂犬病が侵入し再興する可能性は十分に考えられるので、引き続き事業を実施します。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

11頁  
平成30年 8月17日  
14時14分34秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係  
事務事業 02743 防疫活動事業

所属長名 神谷 孝  
担当者 鈴木 正洋  
電話番号 0566-71-2206

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	001	1 1 防災・減災		
施策の方針	007	感染症対策		
事務事業	001	防疫活動事業		
事業期間	平成1年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律			
備考				

## 【事業分析】

対象	市民が
目的	快適な生活環境を維持するため、蚊の発生を防ぐ防疫体制を準備しています。
手段	各町内会の実施する防疫活動に、薬剤と散布機器の貸出をしています。災害に備え、散布機器をいつでも使えるよう整備しています。
事務内容	町内会への薬剤（油剤、発泡錠剤）の配布事務を行います。

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	7,361	8,794
事業費	0	5,471	5,014
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	5,471	5,014
人件費計	0	1,890	3,780
正規（人）	0.00	0.30	0.60
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		二兼機貸出数 85台 薬剤配布量 90缶 油剤 90缶 発泡錠剤 6,801袋	二兼機の貸出 薬剤の配布

# 事務事業評価シート（2/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係  
事務事業 02743 防疫活動事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
薬剤の必要数の調査	回	0.00	1.00	1.00
		0.00	1.00	0.00
二兼機借用希望調査	回	0.00	1.00	1.00
		0.00	1.00	0.00

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	町内会の要望に基づいて実施しています。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	環境汚染の側面もありますが、強い要望もあります。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	町内会の希望は尊重していきます。		
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	コストの高い油剤から発泡錠剤に切り替えていきます。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	薬品のコストを含めて、効率化を図っていきます。		

【1次評価結果】	
事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	今後は、油剤の使用を縮小する方向で進めます。

【2次評価結果】	
事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係  
事務事業 02744 市営霊園管理事業

所属長名 神谷 孝  
担当者 柴立 武  
電話番号 0566-71-2206

## 【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002 環境			
項目（施策）	002 4都市基盤（住環境）			
施策の方針	001 4都市基盤（住環境） その他			
事務事業	002 市営霊園管理事業			
事業期間	昭和27年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市霊園の設置及び管理に関する条例・安城市霊園の管理に関する規則			
備考				

## 【事業分析】

対象	墓所を必要とする市民に
目的	墓所を提供する。
手段	市営霊園の環境保全及び施設管理に努めるとともに、市民の墓地需要に応えるよう、計画的な整備により安定的に墓地の供給を行います。
事務内容	霊園利用受付事務、利用承継及び埋蔵届等のデータを管理しています。トイレなどの霊園内施設の管理を行います。

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	7,126	8,627
事業費	0	3,346	4,217
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	37	50
一般財源	0	3,309	4,167
人件費計	0	3,780	4,410
正規（人）	0.00	0.60	0.70
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		役員会（3回） 総会（2回）	役員会（3回） 総会（2回）

# 事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係  
事務事業 02744 市営霊園管理事業

上段：目標値 下段：実績値

## 【定量評価】

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
故障に対する年内修繕率（修繕件数／故障件数）	%	0.00 0.00	100.00 100.00	100.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市営霊園として設置されています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	新規申込者は毎年あります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	各霊園管理組合との連携を図っていきます。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	各霊園管理組合と協議のうえ効率化を図っていきます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市との単純比較は難しいですが、適正と思います。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	墓所利用に関する要望には、今後10年以上に渡って応えることができます。今後は社会情勢の変化に合わせて、市民霊園のありかたを検討していきます。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。